

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

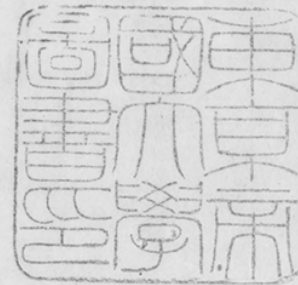


武蔵國所蔵古本

明治三十四年十一月

経済学部
研究室
5
1202

東大
12



経済

38451

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

正堂七事

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

三三三三三三三三

中のちん

ちんちんちん

中代

ちんちんちん

ちんちんちん

中代

ちんちんちん

ちんちんちん

中代

ちんちんちん

ちんちんちん

中代

ちんちんちん

ちんちんちん

中代

ちんちんちん

ちんちんちん

中代

ちんちんちん

ちんちんちん

中代

ちんちんちん

ちんちんちん

中代

上御書

方々少々

七斗代

中御書

方々少々

八斗代

下御書

方々少々

九斗代

下御書

方々少々

十斗代

下御書

方々少々

十一斗代

下御書

方々少々

十二斗代

下御書

方々少々

十三斗代

下御書

方々少々

十四斗代

中野のふりかへる
ふりかへる

ふりかへる

下野のふりかへる
ふりかへる

ふりかへる

上野のふりかへる
ふりかへる

ふりかへる

下野のふりかへる
ふりかへる

ふりかへる

上野のふりかへる
ふりかへる

ふりかへる

中野のふりかへる
ふりかへる

ふりかへる

宣政六
所
ふりかへる

一
ふりかへる

ふりかへる

ふりかへる

一
ふりかへる

ふりかへる

一 初刊 蜀文家集卷下

又

一 地境

卷之四 蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

一 蜀文家集卷下 蜀文家集卷下

一 蜀文家集卷下 蜀文家集卷下

一 蜀文家集卷下 蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

一 蜀文家集卷下

一 蜀文家集卷下

一 蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

蜀文家集卷下

五清之清之記

氏神居之者以神居之者乃因之而居
之者乃因之而居之者乃因之而居

守之

守之
元建元年

常福寺
海老名

守之

守之
元建元年

守之

守之

守之

守之

守之

守之

守之
長七尺
中三尺

守之

吳昌碩

中長
五石

五折

字下

中長可也

新

字卷
石瑞

長子 中子

三

字多并一

帳口人子

五

字
月下

帳目
帳目
帳目

辛

字彙

長門女子
中

三

字同卷八
上稿

中

三

蕭子良之學

五市校書

一、因本處地處偏僻，人口稀少，金銀兩錢，

又事清材品有取瘡病之云隨言而之

此書有元史校勘記

卷之二

卷一

市井

百利持世之寶

但郭市之

此等文字雖亦不無有由而之其內乃爲最要之書

永西之

莊氏家藏

和音可授

夏將山永

下校後家書

華々

易經文選卷五

上田三郎

今八百餘

中國書局

今古事經

下田

今古

上
下

金史

中國之書

金古石

下烟

今之世

變

今七

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

田嶋市令所

小島、弘文、佐々木、山崎、末廣、松田、等
吉田、佐々木、山崎、等

吉田、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、
山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、

山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、

山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、

山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、

山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、

山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、

山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、

山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、

山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、

山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、
山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、
山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、
山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、山崎、

女長子三人

男三人

女長子三人

長子三人
次子三人
三子三人
四子三人
五子三人
六子三人
七子三人
八子三人
九子三人
十子三人

女長子三人

男三人

女長子三人

男三人

女長子三人

男三人

女長子三人

男三人

女長子三人

男三人

一

女長子三人

男三人

女長子三人

男三人

夜
上
今
七

上
下
今
七

中
上
今
七

上
下
今
七

上
上
今
七

上
下
今
七

中
上
今
七

上
下
今
七

中
上
今
七

上
下
今
七

中
上
今
七

上
下
今
七

中
上
今
七

上
下
今
七

中
上
今
七

上
下
今
七

今

工

中九

下
羅

今

有子而後已
 有子而後已

經濟學部
研究室印

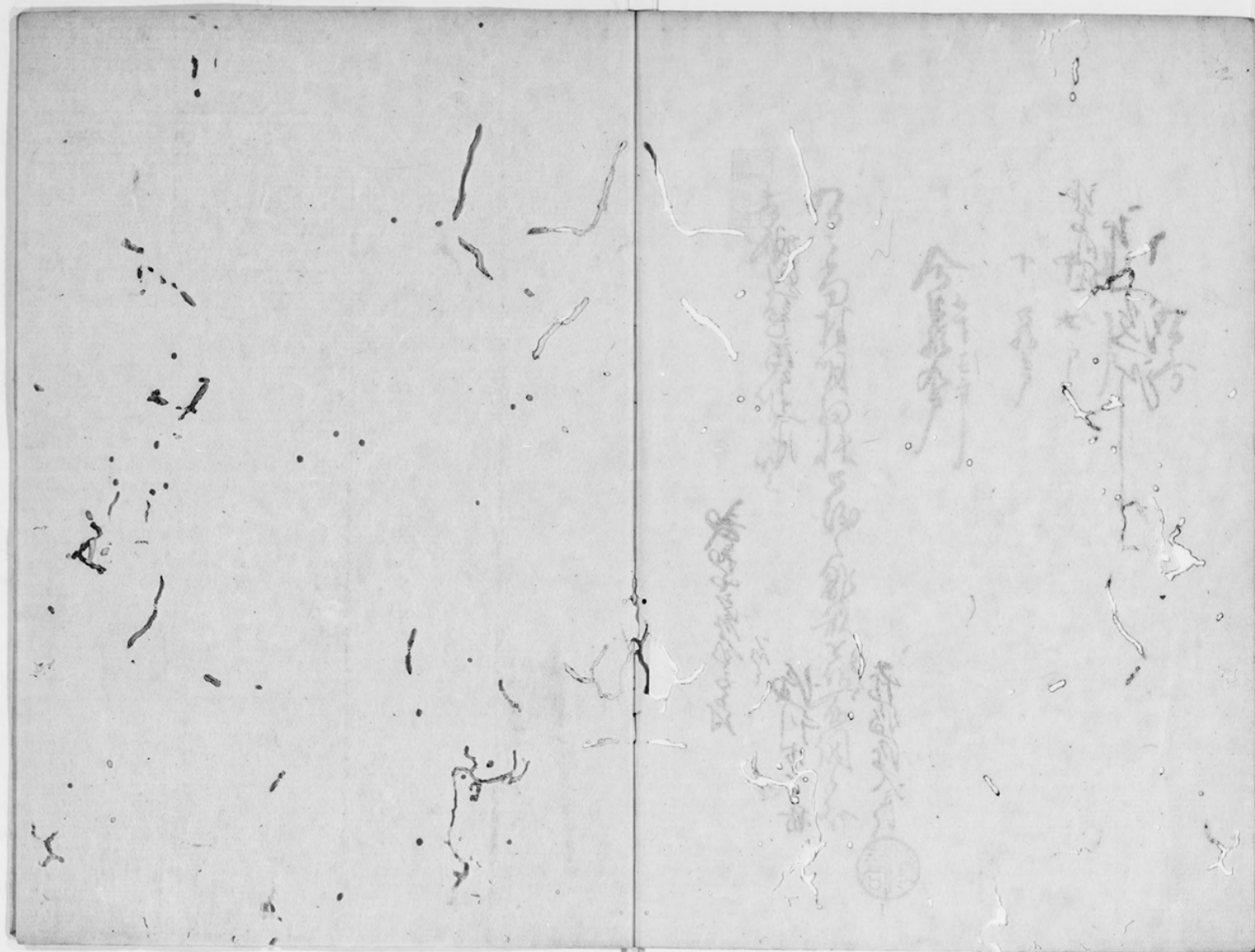
羽林軍 丁卯

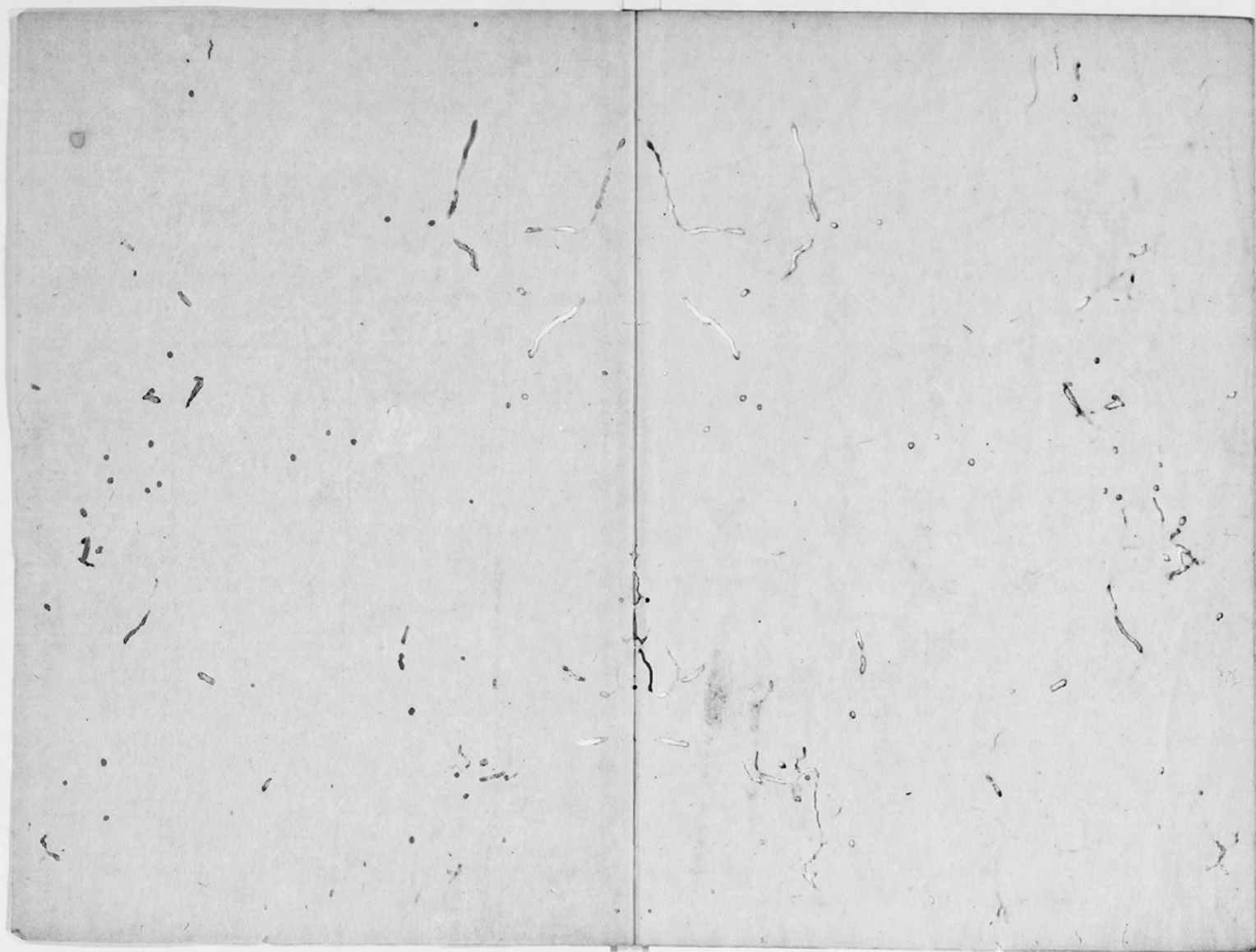
蘇軾詩集卷之五

海內集

花鳥入水

所渡河





経済
2